



すたペンドリル 雲の種類と天気 2



上層雲

1. 巻層雲

すきとおるベールのような姿が特徴で別名はうす雲。太陽や月の周りに、美しく光る円の“かさ”が生まれます。この雲が出ると、**天候は下り坂**です。



上層雲

2. 巻積雲

魚のウロコのような細やかな模様が一面に広がるのが特徴です。別名はいわし雲、うろこ雲。天気の変り目を知らせる雲として知られていて、**翌日、あるいは数日後に天気が崩れます**。



上層雲

3. 巻雲

秋に目にすることが多く、ホウキでサーッとなでたような形が特徴です。別名はすじ雲。低気圧や台風が近づいてくる方向にすじがのび、**翌日、あるいは数日後の天気が崩れがち**です。



対流雲

4. 積乱雲

夏に多く、積雲から発達した巨大な雲です。別名かみなり雲・入道雲。15kmの高さに成長することもあり、**激しい雨やひょうを降らせて災害をもたらす**こともあります。



中層雲

5. 高積雲

もこもことした雲がたくさん並び、別名ひつじ雲といます。**すきまから青空が見えれば雨が降る確率は低いものの、雲が厚くなると雨が降りやすくなります**。



中層雲

6. 高層雲

空全体を厚く灰色に覆ってしまうのが特徴で、別名はおぼろ雲。薄いベールの巻層雲は日陰ができますが、高層雲は日陰ができません。この雲が現れたら、**まもなく天気が崩れます**。



中層雲

7. 乱層雲

高層雲が厚みを増して変化したものが乱層雲です。別名は雨雲。この雲の下にポツリポツリと“**ちぎれ雲**”が現れると、**まもなく雨**になります。



下層雲

8. 層積雲

低い空に浮かぶ、底に丸みがある大きな雲です。別名はうね雲。**雨になりにくく、形がどんどん変わるときは風が強く吹きます**。



対流雲

9. 積雲

天気のいい空にホワホワと浮かぶ雲で、一年中見ることができます。別名はわた雲。地表の空気が温められて誕生するため陸地にできやすく、**発達すると積乱雲**になります。



下層雲

10. 層雲

低い位置にでる雲で、別名きり雲。**山間部の寒い日によく見られ**、北海道など極寒の地域では、層雲や霧などに含まれる水滴が寒さで凍り、空気中でキラキラ輝くこともあります。

上層雲

高度5～13kmの高いところに発生する雲。

中層雲

高度2～7kmのところに発生する雲。

下層雲

高度2km以下の低いところに発生する雲。

対流雲

大気が不安定なとき対流が起り、上にむかって発達する雲。



雲は、空気中の水蒸気が上空で冷やされ、小さな水滴や氷の粒に変化して集まったものなんだ。粒がぶつかって大きくなると、重くなって降ってくるよ。

